

第 5 8 回全国社会教育研究大会千葉大会に参加して

広島市社会教育委員 小田 長

1 研修の概要

資料 5 (P.6) のとおり

2 分科会 (第 4 分科会)

テ ー マ:「社会教育委員の役割」

内 容:人づくり・まちづくりを進める社会教育委員の役割

事例発表者:鹿児島県霧島市 社会教育委員の会議 新田 瑠璃子 氏

長野県岡谷市 社会教育委員の会議 濱 道夫 氏

教育委員会生涯学習課 小口 喜照 氏

司 会 者:千葉県教育庁南房総教育事務所 社会教育主事 金房 努 氏

助 言 者:文部科学省国立教育政策研究所社会教育実践センター 二宮 信司 氏

3 所感

社会教育委員のあるべき姿について全国の委員が考えている事や、政令指定都市と全国市町村との違いが明確になり、社会教育委員会議を推進させるための研究チームを行政職員と共に作る必要性を感じた。今回の大会において以下のような事を感じ、進めていくことが必要であると考えた。

(1) プロジェクトチームの構築

ア 社会教育のあるべき姿の構築

イ 活動の場(公民館等)の整備計画案作り

ウ 公民館の再構築計画案作り

エ 社会教育委員会委員の教育

(2) 市民アンケート作りとその実施計画案づくり

ア 社会ニーズの調査

イ 幼児・児童・青少年を取巻く環境問題調査

ウ 社会教育施設の使途の見直しとプログラム実践計画作り

(3) 委員教育予算の獲得計画と養成

ア アンケート調査費・指導者養成費

イ 社会教育施設の充実と効率的稼働計画案作り

ウ コミュニティサービス研究費の獲得

(4) 教育委員会との協働と济別けの模索

ア 幼稚園・学校・青少年における課題、問題の抽出

イ 社会教育に出来る事の抽出と協力関係

ウ 社会教育委員会と教育委員会の関係の見直し

※ プロジェクトチームを早期に計画、社会教育の新たな出発を模索、実践に移す事と、その責任を担う社会教育主事の職務再教育と、責任譲渡できるボランティア組織の構築を望む。これらの稼働が乳幼児・児童・青少年の育成につながるものと考察する。

※ ボランティアは全て無償と言うことではなく有償ボランティアも認める事で、ボランティア養成は予算をかけて実施・実働させる事を望む。

※ 社会教育委員として関わってきたが世界のグローバル化や国際平和都市広島の特徴あるボランティア組織の育成こそ社会教育に必要なキーではないだろうか。